

令和5年2月19日

令和5年度 第3回 大阪府立東住吉支援学校 学校運営協議会 実施報告書

大阪府立東住吉支援学校
校長 甲斐 俊夫

日時	令和6年2月19日（月） 午後3時00分～午後4時00分
場所	大阪府立東住吉支援学校 調理室
委員	五位塚和也 船戸正久 北畠正寛 羽室剛 栗田真理 小山真澄
学校	甲斐俊夫（校長） 坂田享介（准校長） 植野耕司（教頭） 造田明德（教頭） 萬井俊治（首席） 蔵本真澄（首席） 池田浩明（首席） 中尾葉子（首席）
協議事項	(1) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価における本年度の取り組み内容及び自己評価について (2) 学校教育自己診断について (3) 令和6年度 学校経営計画「めざす学校像」「中期的目標」
協議要旨	(1) 令和5年度 学校経営計画及び自己評価における本年度の取り組み内容及び自己評価について →両部門の自己評価を抽出して説明 【質問及び意見聴取】 <ul style="list-style-type: none">・学校が施設・設備の改善に尽力しておられたが、保護者にあまり知られていないのは大変残念。学校の努力をもっと知ってもらいたい。 →学校としてはかなり力を入れているが、その情報の更なる発信を行っていききたい。・経験の少ない教職員に研修の充実を。教職員同士で相談・情報交換を活発に行えるように取り組んでほしい。 →働き方改革を通じて教職員同士がゆとりをもって、コミュニケーションがしやすい時間を作っていきたい。・いじめ対応について肯定的な評価が多いのは良いが、否定的回答や「あてはまらない」と回答している保護者もいるので、検討の場にとりあげてほしい。 →学校の対応や説明にご納得いただけなかったところもあったかと思う。今後学校全体で取り組み力を入れていきたい。・通所事業所説明会では住吉区の事業所の参加数が少ない。 →羽室委員より：各区の自立支援協議会が参加を募っている。少なかった原因のひとつとして、日程が重なったことも考えられるが、今後も声かけを続けていきたい。 (2) 学校教育自己診断について <ul style="list-style-type: none">・保護者の回答70%、教職員の回答100%であった。本運営協議会でご助言をいただき回答数がアップできたことに感謝。 【質問および意見聴取】 <ul style="list-style-type: none">・教員の働く姿の中でバーンアウトなども話に聞く。地域の学校に比べて、支援学校は、放課後のクラブ活動も少なく、あまりいそがしくないのではと思うところもある。15時から余裕があるのか。 →支援学校では給食も自立活動として指導しており15時30分まで休憩なしで指導や支援を続けている。教職員の休憩時間は15時30分から16時15分であり17時までの45分で会議（職員会議、学部会、学年会、他）や教材準備などを行っている。また、日々、児童生徒の一日の様子の情報交換もしている

	<p>ので余裕があるとは言えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の育成が課題と思われる、初任者育成の体制があるのか。初任者が意見を出し合える場面を持つのも良いかもしれない。 <p>→年度当初の4月に5回の研修を設けている。その後は学年や学部でOJTに取り組んでいる。長期休暇中に意見を出せる場を設けるなど検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもブログを見させていただいている。ブログ（ICT機器を使った授業実践）について、支援学校の関係者以外が見てもわかりやすい内容にしていきたい。 <p>→わかりやすい内容を発信する方法を検討していく。</p> <p>(3) 令和6年度 学校経営計画「めざす学校像」「中期的目標」</p> <p>→「めざす学校像」両部門の「中期的目標」の変更点を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で承認
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 学校経営計画および学校評価 (肢体不自由教育部門 知的障がい教育部門) ・教職員向け学校教育自己診断 結果一覧表 ・保護者向け学校教育自己診断 結果一覧表
備考	傍聴者【 0 】名